

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公開番号】特開2009-101667(P2009-101667A)

【公開日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2009-019

【出願番号】特願2007-278053(P2007-278053)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 41 J 2/21 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

B 41 J 3/04 101A

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月18日(2010.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録ヘッドを記録媒体に対して走査させて前記記録媒体に画像の記録を行う記録装置であつて、

複数の走査記録で使用する画像データを保持する記録バッファと、

前記記録媒体における先の走査記録で記録される領域と次の走査記録で記録される領域との境界部分を含む所定の領域に関し、前記記録ヘッドの走査方向に分割された領域に対応する画像データを前記分割された領域毎に順に前記記録バッファから読み出す読み出し手段と、

前記読み出し手段により読み出された画像データに基づき記録するデータ量に関する情報を取得する取得手段と、

前記読み出し手段により読み出された画像データを1または複数のラスタごとに複数のグループに分けて、前記取得手段にて取得された情報に基づいて、前記グループ毎に異なる間引き率で間引く間引き手段と、

前記読み出し手段にて読み出された前記記録バッファの領域に、前記間引き手段にて間引かれた画像データを格納する格納手段と、

前記記録バッファに保持された画像データに基づいて記録を行う記録手段とを備えることを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記読み出し手段により読み出された画像データはインデックス形式の多値データであり、前記取得手段によって取得された前記多値データの前記データ量に関する情報に基づき、前記間引き手段はマスクパターンを用いて前記グループ単位で画像データの間引きを行うことを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記間引き手段は、前記複数のグループのうち間引きを行うグループを選択する選択手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項4】

前記間引き手段は、前記選択手段が選択したグループに対応する画像データに対して、

前記データ量に関する情報に基づき、予め用意された複数の異なるマスク率のマスクパターンを選択して間引きを行うことを特徴とする請求項3に記載の記録装置。

【請求項5】

前記間引き手段は、前記読み出し手段により読み出された前記分割された領域に対応する画像データを保持する間引きバッファを備えることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項6】

記録ヘッドを記録媒体に対して走査させて前記記録媒体に画像の記録を行う記録装置の制御方法であって、

前記記録媒体における先の走査記録で記録される領域と次の走査記録で記録される領域との境界部分を含む所定の領域に関し、前記記録ヘッドの走査方向に分割された領域に対応する画像データを前記分割された領域毎に順に記録バッファから読み出す読み出し工程と、

前記読み出し工程により読み出された画像データに基づき記録するデータ量に関する情報を取得する取得工程と、

前記読み出し工程により読み出された画像データを1または複数のラスタごとに複数のグループに分けて、前記取得工程にて取得された情報に基づいて、前記グループ毎に異なる間引き率で間引く間引き工程と、

前記読み出し工程にて読み出された前記記録バッファの領域に、前記間引き工程にて間引かれた画像データを格納する格納工程と、

前記記録バッファに保持された画像データに基づいて記録を行う記録工程とを備えることを特徴とする記録装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記課題を解決するための本発明は、記録ヘッドを記録媒体に対して走査させて前記記録媒体に画像の記録を行う記録装置であって、複数の走査記録で使用する画像データを保持する記録バッファと、前記記録媒体における先の走査記録で記録される領域と次の走査記録で記録される領域との境界部分を含む所定の領域に関し、前記記録ヘッドの走査方向に分割された領域に対応する画像データを前記分割された領域毎に順に前記記録バッファから読み出す読み出し手段と、前記読み出し手段により読み出された画像データに基づき記録するデータ量に関する情報を取得する取得手段と、前記読み出し手段により読み出された画像データを1または複数のラスタごとに複数のグループに分けて、前記取得手段にて取得された情報に基づいて、前記グループ毎に異なる間引き率で間引く間引き手段と、前記読み出し手段にて読み出された前記記録バッファの領域に、前記間引き手段にて間引かれた画像データを格納する格納手段と、前記記録バッファに保持された画像データに基づいて記録を行う記録手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、上記課題を解決するための別の本発明は、記録ヘッドを記録媒体に対して走査させて前記記録媒体に画像の記録を行う記録装置の制御方法であって、前記記録媒体における先の走査記録で記録される領域と次の走査記録で記録される領域との境界部分を含む所定の領域に関し、前記記録ヘッドの走査方向に分割された領域に対応する画像データを前

記分割された領域毎に順に記録バッファから読み出す読み出し工程と、前記読み出し工程により読み出された画像データに基づき記録するデータ量に関する情報を取得する取得工程と、前記読み出し工程により読み出された画像データを1または複数のラスタごとに複数のグループに分けて、前記取得工程にて取得された情報に基づいて、前記グループ毎に異なる間引き率で間引く間引き工程と、前記読み出し工程にて読み出された前記記録バッファの領域に、前記間引き工程にて間引かれた画像データを格納する格納工程と、前記記録バッファに保持された画像データに基づいて記録を行う記録工程とを備えることを特徴とする。